

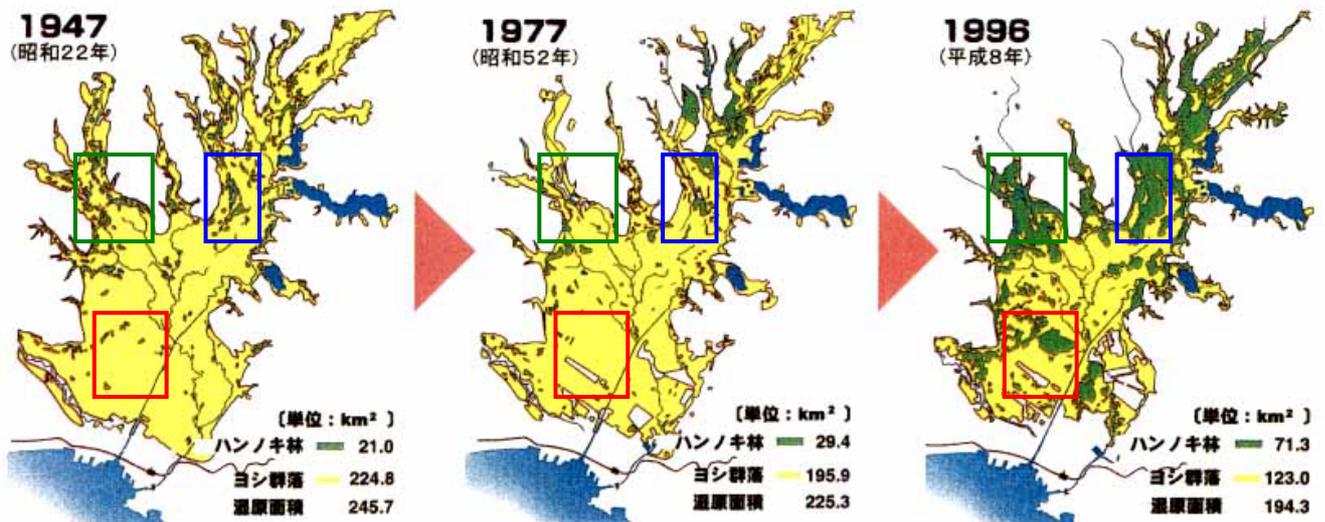
4. 湿原植生の制御

河川環境の指標であるハンノキ林の急激な増加やヨシ-スゲ群落の減少に対し、湿原植生を制御する対策をすべきである。

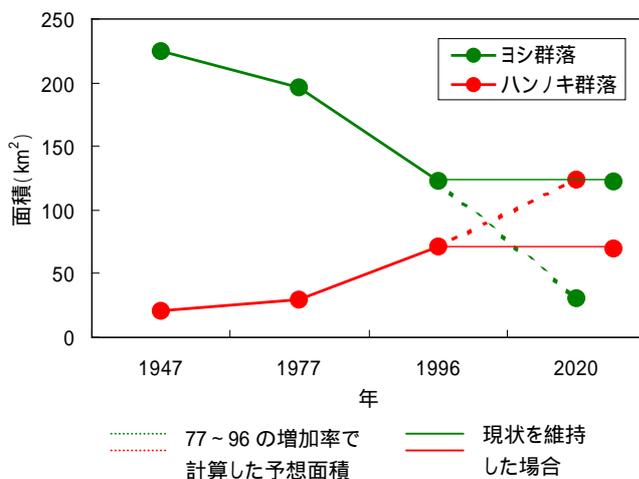
施策の背景

近年、流域の経済活動の拡大に伴い湿原面積が著しく減少し、湿原植生もヨシ-スゲ群落(黄色)からハンノキ林(緑)に急激に変化してきている(下図参照)。ハンノキは現在の増加率で増えていくと2020年にはヨシ群落よりも多くなることが予想される。

そこで、ハンノキ林の面積増加が特に著しい久著呂川(青)、雪裡川(緑)、雪裡樋門地区(赤)において湿原植生の制御を図ることとなった。



釧路湿原の変遷



現在の雪裡樋門地区

湿原植生面積の予測される推移